

屋嶋城跡

第2回

屋嶋城城門遺構整備事業

現地見学会



平成24年2月5日

高松市教育委員会

屋嶋城城門遺構整備工事概要（石積修復工事）

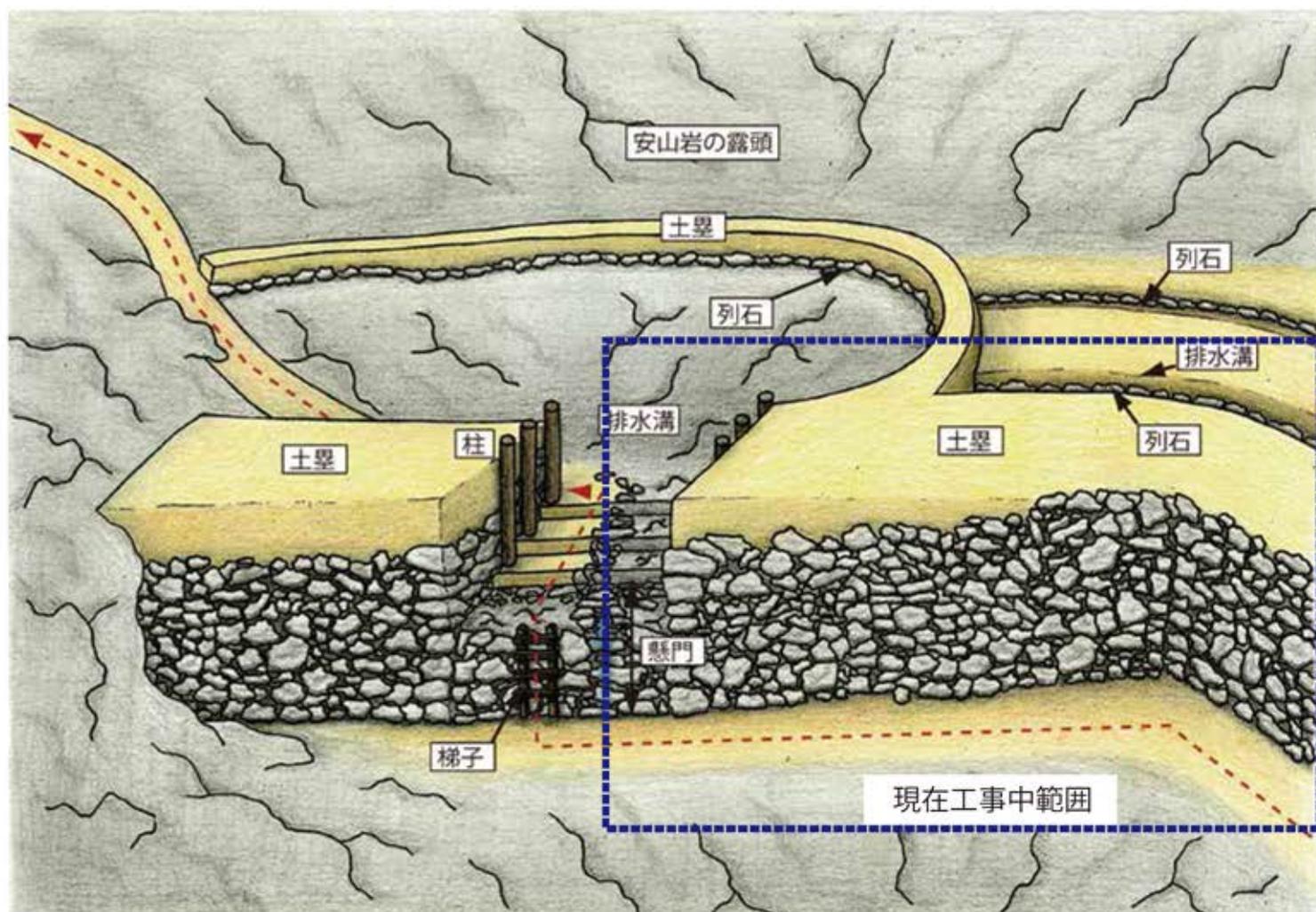
屋嶋城城門遺構整備事業は門道を中心に北側と南側の2つに工区を分け、平成19年度から南側の城壁部分の工事に着手しました。平成20年度に崩落石の回収、平成21年度に石積解体、平成22年度に復元工事に先立つ試験施工等を実施し、今年度9月より石積復元工事に取り掛かっています。

石垣の大部分が崩落し、残っていた積石も1,350年の歴史の中で大きく損傷していました。そのため、積直しに当たっては数少ない原型を留めていた部分や、県内の古代山城で、同じ安山岩で石塁を築いている讃岐城山城の石積みなどを参考にしながら、石工さんとともに試行錯誤しながら実施しているところです。

また、割れていた石等も多く、使用できる石が足りないため、石を接着したり、転石を回収し使用したりしていますが、それでも石が足りないことから坂出市加茂から安山岩を調達し新たに補っています。

復元工事にあたり様々な課題があり、試験施工等の結果から復元後の城壁の安定性を確保するため、排水補強パイプを設置し、城壁内部の排水と補強も併せて行っています。

現在行っている工事は今年の秋頃を目標に完成する予定で、その後、門道の北側の石垣工事を実施していく予定です。





試験体



丁張



石積み状況



石積み



城壁施工状況



排水補強パイプ施工状況



新補石材加工状況



加工具

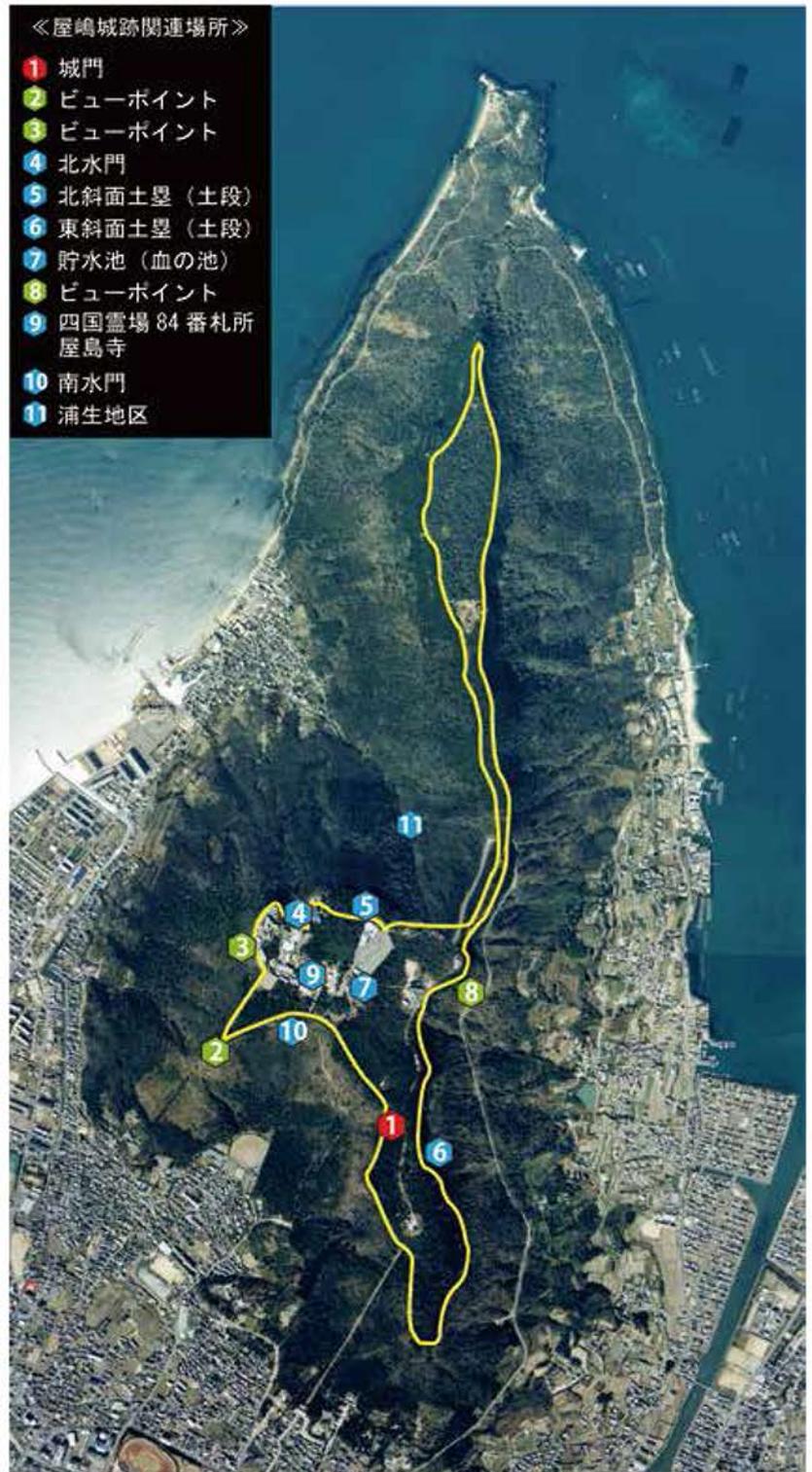
屋嶋城関連遺構と眺望点

屋島の山頂には、全長7 kmにおよぶ城壁が想定されていますが、実際人工的に造成された城壁はその約1割ほどです。それ以外は自然の要害を利用しています。山頂には約7カ所に屋嶋城に関連する遺構が確認されていますが、最も大規模に城壁が築かれているのが、城門地区です。

現在、城門地区は工事のため立ち入り禁止となっておりますが、右図②の眺望点から城門地区を眺めることができます。

この地点は瀬戸内海も一望でき、屋嶋城が築かれた当時も、敵の船がやってきた際に城門地区へと情報を伝達する重要な役割を担った地点だったと考えられます。

また、城門地区からは坂出市讃岐城山城の山頂部をみることができ、城山からも現在の工事現場を確認することができます。そのため、当時は烽火などで情報伝達が可能であったと考えられます。



眺望点からの眺め

